

平成31年 3月 4日(月)

徳島河川国道事務所

重点「道の駅」の選定証授与式について

～地方創生の核となる「道の駅」を重点的に支援します。～

国土交通省四国地方整備局徳島河川国道事務所では、平成31年1月30日に重点「道の駅」に選定された道の駅「大歩危」^{おおぼけ}と重点「道の駅」候補に選定された道の駅「いたの（仮称）」の選定証授与式を開催しますので、お知らせします。

記

○道の駅「大歩危」^{おおぼけ}

1. 日時 平成31年3月7日（木）10:00～10:30
2. 場所 三好市役所（本庁舎）会議室
3. 参加者 黒川征一^{くろかわせいいち}三好市長、谷村昌史^{たにむらまさし}四国地方整備局道路部長 他
4. 次第
 - ・ 選定証授与
 - ・ 道路部長挨拶
 - ・ 市長挨拶
 - ・ 記念撮影

○道の駅「いたの（仮称）」

1. 日時 平成31年3月10日（日）11:20～11:30
2. 場所 板野郡板野町川端
3. 参加者 玉井孝治^{たまい こうじ}板野町長、宮藤秀之^{みやふじ ひでゆき}徳島河川国道事務所長 他
4. 次第
 - ・ 選定証授与
 - ・ 記念撮影

※報道関係者の方は選定証授与式に参加可能です。

※本施策は、四国圏広域地方計画「No.5 地域の自立的・持続的発展に向けた「資国」産業競争強化プロジェクト」の取り組みに該当します。

【お問い合わせ先】主たる連絡先◎

国土交通省 四国地方整備局 徳島河川国道事務所

◎事業対策官 多田 貴幸 電話：088-654-9623(直通)

交通対策課長 高井 健一

重点「道の駅」制度の概要

- 全国各地で「道の駅」を地域活性化の拠点とする取組が進展しています。
- この動きを応援するため、国土交通省では、重点「道の駅」制度を創設し、優れた「道の駅」を関係機関と連携して重点支援する取組を実施します。



重点「道の駅」に想定される機能

地域外から活力を呼ぶ ゲートウェイ型

地域の観光総合窓口機能

地域全体の観光案内、宿泊予約窓口 等

インバウンド観光の促進

外国人案内所、免税店、無料公衆無線LAN、海外対応ATM 等

地方移住等の促進

地方移住のワンストップ窓口
ふるさと納税の情報提供 等

「道の駅」が
活力を呼び、雇用を創出、
地域の好循環へ



地域の元気を創る 地域センター型

地域の産業振興

地方特産品のブランド化、6次産業化 等

地域福祉の向上

診療所、役場機能、高齢者住宅 等

高度な防災機能

広域支援の後方支援拠点、防災教育 等



全国モデル「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点として、特に優れた機能を継続的に
発揮していると認められるもの

全国的なモデルとして成果を広く周知するとともに、
さらなる機能発揮を重点支援

重点「道の駅」

国土交通大臣選定

地域活性化の拠点となる優れた企画があり、今後の重点支援
で効果的な取組が期待できるもの

取組を広く周知するとともに、取組の実現に向けて、
関係機関が連携し、重点支援

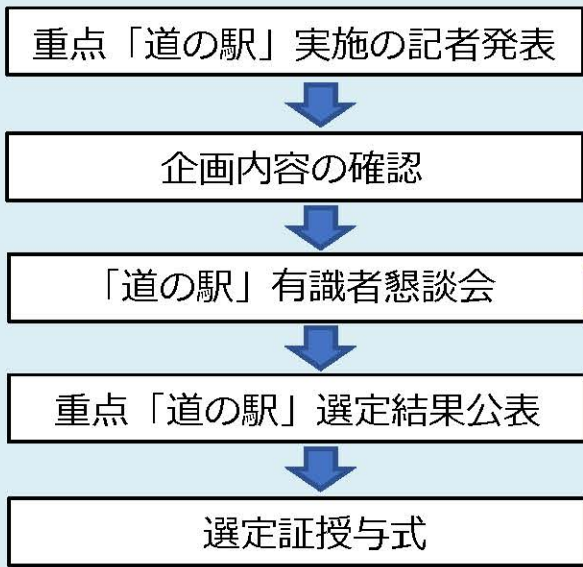
重点「道の駅」候補

地方整備局長等選定

地域活性化の拠点となる企画の具体化に向け、地域での意欲的
な取組が期待できるもの

関係機関が連携し、企画検討等を支援

(選定の流れ)



「道の駅」有識者懇談会

委員長：石田 東生 〔筑波大学大学院 システム情報工学研究科教授〕

楓 千里 〔JTBパブリッシング執行役員 ソリューション事業本部副本部長〕

篠原 靖 〔跡見学園女子大学 マネジメント学部准教授〕

山田 知子 〔比治山大学現代文化学部教授〕

(敬称略・五十音順)

(参考資料)

「道の駅」の目的と機能

「道の駅」の目的

- 道路利用者への安全で快適な道路交通環境の提供
- 地域の振興に寄与

「道の駅」の機能

- 休憩機能**：24時間、無料で利用できる駐車場・トイレ
- 情報発信機能**：道路情報、地域の観光情報、緊急医療情報などを提供
- 地域連携機能**：文化教養施設、観光レクリエーション施設などの地域振興施設

「道の駅」の基本コンセプト

地域とともにつくる
個性豊かな
にぎわいの場

「道の駅」登録数

道の駅登録数の推移

(駅数)

年度	登録数
H10	470
H15	743
H20	900
H25	1040
H30	1145

「道の駅」総数1,145駅

平成31年1月現在

- 全国年間売上額 約2,500億円 (H27)
- 全国年間購買客数 約2億4000万人 (H27)

都道府県	登録数
北海道	122
青森	28
秋田	33
山形	21
福島	33
茨城	13
栃木	24
群馬	20
山梨	21
長野	50
新潟	39
石川	26
富山	15
福井	15
岐阜	35
愛知	16
三重	18
滋賀	20
京都	18
大阪	10
和歌山	34
奈良	15
高知	24
徳島	16
香川	18
愛媛	29
高松	17
岡山	16
広島	19
山口	24
福岡	16
佐賀	9
長崎	11
熊本	31
鹿児島	22
沖縄	8
大分	24

○ミシュラングリーンガイド・ジャパンでも紹介されている「祖谷溪」や名勝指定された「大歩危・小歩危」等数々の観光資源の玄関口である道の駅「大歩危」にて、インバウンドに対応した、ゲートウェイ(観光拠点)としての案内機能強化や周遊観光機能整備を図る。
 ○DMO団体、四国風景街道などと連携し地域資源を活かした観光を推進し、周遊・滞在型観光を推進する。

高松空港

祖谷溪

大歩危・小歩危 国の天然記念物 (地質鉱物)

道の駅大歩危

高知空港

祖谷

三好市

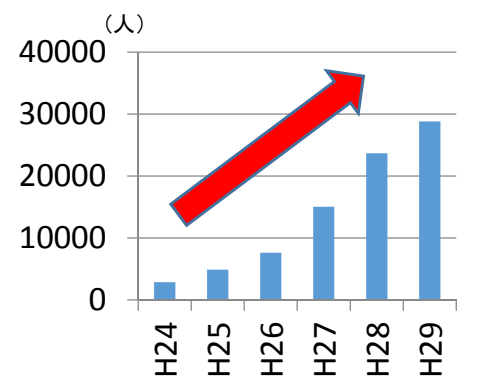
数々の観光資源の玄関口 観光情報、案内の一体的な提供

観光客の一時避難所 機能強化

2017年ラフティング世界大会の開催

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
大歩危	徳島県	三好市	国道32号	既設	平成20年度	単独型

急増する外国人旅行者への案内機能強化、周遊・滞在型観光機能整備



<提案の先駆性・ポイント>

- 道の駅「大歩危」を窓口とし、にし阿波～剣山観光圏(三好市、美馬市、東みよし町、つるぎ町)を地域DMO「そのの郷」及び、四国風景街道「三好市秘境ロマン街道推進協議会」と連携し、観光施設の情報を一体的に発信、地域全体のゲートウェイとして、周遊・滞在型観光を推進する。
- 「過疎地域自立活性化優良事例」に認められた「山城・大歩危妖怪村」と連携し、「妖怪」を活かした観光地づくりを行い、滞在時間の増加、周遊観光を図る。

<実施内容>

- 外国人観光案内所機能強化(L1からカテゴリⅡへの格上げ)
- JR大歩危駅との連携 外国人観光客の安全な誘導
- 地域伝承である「妖怪」を活用した観光案内板や多言語案内板の整備
- 外国人旅行者へ「周遊バス」の実証実験により、二次交通の整備促進
- 防災備蓄(食糧、毛布)等の防災機能の強化

道の駅「いたの(仮称)」(徳島県板野町) 企画概要 <新設>

H30重点候補

- 板野町は四国88箇所のお寺が3箇所、また近くに1番札所の霊山寺があり、**四国全体のお遍路のスタート位置**である。
- E11高松道・E32徳島道の双方に近い立地を活用し、四国内外から訪れる**高速道路利用者の休息機能**と**四国お遍路のゲートウェイ機能**を両立。
- お遍路に関する情報ステーションやシャワー等のおもてなし広場を設け、**お遍路の情報と休息サービスを提供**する。
- 四国内に訪れる訪日外国人は大幅に増加しており、**外国人お遍路等を対象とした観光案内所**を設ける。
- 地域産業振興、地域福祉、防災施設としての整備と合わせ、**内外からの地域活性化の玄関口**としての役割を果たす。

駅名	都道府県	設置者	路線	新設/既設	設置年度	種別
いたの(仮称)	徳島県	板野町	(主)徳島引田線	新設	平成33年	一体型

道の駅「いたの(仮称)」

- 観光総合における提案**
 - ・四国の玄関・観光ゲートウェイ
 - ・88箇所札所、歴史等紹介
 - ・各施設の周遊観光推進
- 高速道路の休息機能**
 - 高速バス停留所の設置
 - 次世代エネルギー等先端技術
- 産業振興における提案**
 - ・六次産業化推進、地域特産品の商品化
 - ・地産地消レストラン
- 地域福祉における提案**
 - ・子育て支援グループなど、子育て親子への支援
 - ・障がい者等への社会参加支援
 - ・ウォーキングコースやサイクリングコースの整備
- 防災における提案**
 - ・災害レポート、支援基地の整備
 - ・災害時の備蓄倉庫、避難所整備



お遍路情報ステーション

外国人観光案内所

「道の駅」では中四国初！
常時英語対応可能なJNTO認定「カテゴリーⅡ」も視野に

- ・「発心の道場23ヶ所」全般の観光案内
- ・県東部圏域の観光情報の提供
- ・県内の各「道の駅」とネットワーク化

おもてなし広場

シャワールーム

衣類乾燥室

<活用例>



<提案の先駆性・ポイント>

- お遍路巡礼のゲートウェイとして四国内・地域周遊観光名所案内による観光促進
- 徳島・高松自動車道の利用者の休憩機能の確保
- 子育て支援や高齢者等買い物弱者等への地域福祉の充実
- 災害時の支援物資、支援部隊等の防災拠点整備
- EV車等への充電等次世代エネルギー等先端技術の提供

<実施内容>

1. お遍路情報ステーション・おもてなし広場の設置
2. インバウンド対応した観光案内所、多言語パンフレット設置や多言語案内看板の設置。高速バス停留所の設置、大型バスに対応出来るトイレ整備
3. 子育て支援、高齢者宅への宅配サービス及び移動販売の活動拠点を整備
4. 災害支援物資や部隊受入基地、災害レポート及び非常食備蓄倉庫を設置
5. 水素ステーションやEV急速充電器を設置